

尾道の観光情報を発信する会報誌

おのまが

2016.2 Vol.3



Contents

もくじ

- 2 特集 今春オープン！坂の新しい観光スポット
尾道ゲストハウス「みはらし亭」
- 4 ONOMAGA TIMES
- 6 事業紹介 ビジットジャパン事業／2014 ミス尾道／平成 27 年度新入会員
- 8 INFORMATION／新入会員紹介（くいしん坊 千両）

特集 今春オープン！坂の新しい観光スポット 尾道ゲストハウス「みはらし亭」

大正10年建築の木造2階建ての元旅館。東側に2メートルほどの高さの石垣を組み、その上に土台を載せて軸組を作っており、開いた崖に対して大きく張り出したような外観が特徴。千光寺山ロープウェイのほぼ真下にあたり、国道2号線からはっきりと望見できる位置にある。都市景観上きわめて重要な建築物のひとつで、国の登録有形文化財にも指定されている。

千光寺山ロープウェイから見た改修中の「みはらし亭」

尾道を代表する観光スポットの「千光寺公園」。春には約1500本の桜が園内をピンク色に彩り、訪れる観光客を魅了します。この千光寺山の中腹、千光寺の下にひときわ存在感を放つ建物が「みはらし亭」。NPO法人尾道空き家再生プロジェクトが改修作業を行い、今春、ゲストハウスとしてオープンする予定の再生物件です。

尾道水道を一望できる贅沢な立地

みはらし亭の特徴は、なんと言っても見晴らしの良さ。日の光を浴びてきらきらと輝く尾道水道や山裾をうねるように伸びる線路。ゆっくりと空を走る二つのゴンドラや尾道水道を南北に行き交う渡船。時間の経過も忘れ、いつまでも見ていたい景色がそこに広がっています。



▲窓から見た景色。春には満開の桜と街並みが一緒に見られます。

時代が織りなす魅力の詰まった坂

尾道の象徴とも言える山手地区は、町の発展とともに多くの寺社が建ち、洋館付き住宅や旅館建築、社宅や長屋など、様々な時代の建物が斜面に立ち並んでいます。アップダウンの多い立地に工夫して建てた不定形の建築の面白さと、海を見下ろす眺めの良さが、山手の建物をより一層興味深いものにしています。



▲踏切から見た山手地区。

失ってはならない尾道の宝

みはらし亭は尾道が港町として発展した時代に、当時の豪商たちが坂の上の眺めのいい場所にこぞって別荘を建てた茶園建築のひとつです。自然豊かな千光寺公園の中で、尾道水道を見下ろしながらお茶をたしなんだり、客人をもてなしたりと優雅な時代を経て、戦後は旅館や貸席としても使われていました。しかし、車中心社会への変化や家主の高齢化による不便さや、建物の老朽化から20年以上空き家となっていました。

その状況を見かね「歴史的価値のある造りと素晴らしい眺めは尾道の宝である」という強い思いから、空き家再生プロジェクトが再生に着手しました。



▲多くのボランティアが集まった「空き家再生春合宿」の様子。キッチンスペースの床作りをしています。

床にタイルを貼る作業。砕いたタイルを一つずつ貼るとも根気のいる作業です。



外観をできるだけ変えないために、一度下して洗った古い瓦も利用しています。



▲建物を補強する鉄骨の組み立て作業の様子。文化財としての価値を損なわないことはもちろん、安心安全に利用してもらうためにしっかりと補強しています。

尾道ゲストハウス「あなごのねどこ」

「うなぎ」の寝床のような奥行き深い尾道町家を地元の特産品の「あなご」にちなんで名前をつけた、空き家再生プロジェクトの再生物件。2012年にゲストハウスとしてオープンし、これまで数多くの利用者が訪れました。カフェスペースと宿泊部屋に分かれ、たまたま一緒になった旅人や地元の人たちとの出会いや交流の場となっています。この経験を活かし、みはらし亭は今春オープンします！



▲間口は狭いですが奥に細長く続いており、まさに「あなごのねどこ」という名前がぴったりです。

“ふるさとあっ晴れ認定委員会” にしまなみ海道サイクリングロードや 尾道の特産品が認定されました！

J R西日本岡山支社が岡山県と備後地域の隠れたスポットや逸品を掘り起こし、全国にPRする「ふるさとあっ晴れ認定委員会」にしまなみ海道サイクリングロードや尾道の特産品 4 点が認定されました。

ふるさとあっ晴れ認定委員会とは、岡山・備後地域の隠れた観光素材を「ええとこ」「ええもん」「うめえもん」の 3 つのジャンルに分けて掘り起こし、全国に PR するプロジェクト。

11 月 27 日にグリーンヒルホテル尾道で行われた第 3 回認定委員会で、尾道は【ええとこ】瀬戸内しまなみ海道（サイクリングロード）、尾道～鞆の浦（海の道）、【ええもん】尾道帆布（NPO 法人工房おのみち帆布）、【うめえもん】おのみちサルシッチャ（桂馬蒲鉾商店）、無花果酢いーと（尾道造酢株式会社）、はっさく大福（はっさく屋）が認定されました。その中でも瀬戸内しまなみ海道は特に優れたものに贈られる「あっ晴れ！大賞」



▲12 月 16 日に市長室で行われた認定授与式

を受賞しました。

認定品は岡山駅新幹線改札内の特設ショップ「ふるさとキューブ」や、「さんすて岡山・福山」で販売。「ええとこ」は映像で紹介されています。

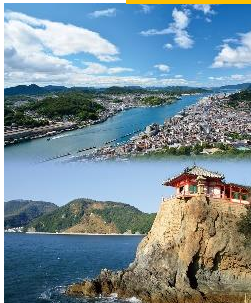
委員会はこれまでに、ええとこ 11 件、ええもん 8 件、うめえもん 26 件の合計 45 件を認定しています。

ええとこ 瀬戸内しまなみ海道 （サイクリングロード）



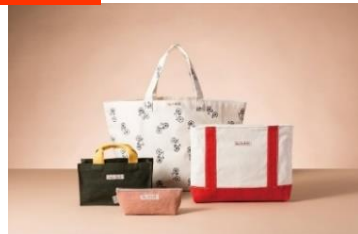
尾道市から今治市の間にある 7 つの島を結ぶ全長約 70km におよぶサイクリングロード。初心者でも気軽にサイクリングを楽しむことができる。

ええとこ 尾道～鞆の浦 （海の道）



しまなみ海道の橋をくぐり、瀬戸内の島々や朱塗りの観音堂と海のコントラストが美しい阿伏兎観音など様々な絶景を眺めることができる船の旅。海上からしか見ることができない海と街並みが織りなす景色を堪能できる。

ええもん 尾道帆布 （NPO 法人工房おのみち帆布）



尾道市内でたった一軒だけ残っている工場で作られた良質な帆布を使用。多彩な生地の中から好きな色を選んでオリジナルのバッグや小物も作ることができる。

うめえもん おのみちサルシッチャ （桂馬蒲鉾商店）



100%自家製のお魚のすり身を使用した手作りの腸詰め。化学調味料、保存料を一切使用しない。ブルーチーズ、バジリコ、瀬戸内レモンの 3 種類が楽しめる。

うめえもん はっさく大福 （はっさく屋）



因島のはっさくを使い、一つひとつ手作りされた、酸味と甘みが絶妙な大福。大粒のはっさくだけを使用しているので、食べごたえ十分。

うめえもん 無花果酢いーと （尾道造酢株式会社）



尾道特産のいちぢく「蓬菜柿」を使用して作った無花果酢をベースにした濃縮タイプの飲むお酢。当時から受け継がれてきた独自の製法で発酵。豊かな香りと甘くソフトな味わいが魅力。

尾道水道クルーズ運航のお知らせ

船から尾道の街並みを楽しむ尾道水道クルーズ。今年も下記の内容で行います！

尾道水道クルーズ

平成 28 年 3/19 (土) ~ 5/8 (日) 土・日・祝 5/2 (祝)・5/6 (土) 土・日・祝 7/16 (土) ~ 11/27 (日) 土・日・祝 8/12 (土) 土・日・祝

クルージング 定期便のご案内

運航回数 定期便 1 日 4 便 土・日・祝のみ
乗客数 (11:00/12:00/13:00/14:00)
※出発時刻より 15 分前までに乗船をお願いします
※乗船時刻は乗客の乗船状況により変更となります
※乗客は乗船時刻に準じて乗船してください

料金 中学生以上 1,200 円 / 小学生 600 円
※保護者同伴に限り適用

のりば ①尾道港棧橋 (JR 尾道駅前「フウターランドビル」1 階)
 ②十四日元町棧橋 (尾道市役所西側)

運航時間 約 40 分

定員 70 名

尾道水道クルーズ～夕波小波～

平成 28 年 3/19 (土) ~ 5/8 (日) 17:00 尾道港出航
 土・日・祝 7/16 (土) ~ 9/25 (日) 18:00 尾道港出航
 10/1 (土) ~ 11/27 (日) 17:00 尾道港出航
※乗船は尾道港のみ。下船は十四日元町棧橋でも可

料金 中学生以上 2,500 円 (ワンドリンク付き)
 小学生 1,250 円
※幼児は保護者同伴につき 1 名無料。2 名以上は小学生運賃適用

オリジナルサイクリングジャージ完成

当協会オリジナルのサイクリングジャージが完成しました。色は白と赤の 2 色。背中には、しまなみ海道の島々や橋のイラスト入り。正面には大きなレモンの断面を描いています。

このジャージは当協会の職員がサイクリングガイドをする際に着用します。今年度はすでに 50 件以上のガイドを実施しました。

引き続き、多くの方々にしまなみ海道サイクリングを楽しんでいただきたいと思います。



▲出来上がった 2 色のサイクリングジャージ

今治・松江観光協会交流会を行いました

12 月 13 日、19 日の両日、松江観光協会と今治地方観光協会それぞれと毎年恒例の交流会を行いました。

松江観光協会との交流会では、昨年 7 月に国宝に指定された松江城を見学。その後、松江市総合文化センターで開催された「小泉八雲朗読の夕べ 稀人（まろうど）ー彼方より訪れしもの」を鑑賞しました。

今治地方観光協会との交流会では、観光パートナー尾

道の会 小林仁会長の案内で浄土寺から ONOMICHI U2 までを散策。今年、秘仏十一面観世音菩薩が御開帳される浄土寺も見学しました。

また、昨年は沿線の 13 の観光協会と手を取り「しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会」も設立。引き続き広域連携を深めることで、しまなみ海道・やまなみ街道沿線の活性化につなげていきたいと思っています。



▲国宝に指定された松江城



▲小林暢玄副住職さんに浄土寺の本堂の中を案内していただきました



▲会場の様子。多くの人で賑わいました。

尾道からは瀬戸田檸檬菓子工房パティスリーオクモト、尾道パステル教室 キラキラスマイル、有限会社セカンドグリッド、尾道市が出展しました。セカンドグリッドの杜仲茶にJA三原のハート型レモンを浮かべたレモンティーやレモンの皮を細かく刻んで作ったパティスリーオクモトのコンフィチュールなどを振舞い、来場者に喜ばれました。ほかにも、しまなみ海道サイクリングロードや日本遺産に認定された尾道水道や街並みの映像を会場のスクリーンで上映。

別の日には、JALパリ支店や現地の旅行会社を訪問し、現地から見た尾道の印象やフランス人観光客が興味を持ちそうなポイント、観光客を呼び込む戦略について協議しました。

今回の広島フェアで、サイクリングロードについて興味を持たれた方が多く見られたので、スポーツバイクを取り扱っている自転車店も急きょ訪問。尾道を紹介したフランス語のパンフレットやサイクリングマップを設置させてもらうなど、現地の人もふれあうことができました。最近では「しまなみ海道を走りたい」とお店を訪ねて来られる方も見られるようになったとの貴重な意見を聞くことができました。

観光協会の

事業紹介

ビジットジャパン事業

広島県産の日本酒のブランド価値向上や、食品・工芸品などの県産品や観光資源を広くアピールするために10月30、31日にフランスパリで開催された「広島フェア」。当協会も尾道市と合同で出展し、食・芸術・文化などの情報発信力のあるフランスで観光PRを行いました。



▲レモンのコンフィチュールや杜仲茶を振舞いました。



▲出展者も現地の方々と商談を行っていました。

昨年の3月から7月まで観光協会でインターンシップをしていたアナイス・カブレさん。フランスに帰国後、今回の広島フェアに通訳として参加しました。そのときの様子や感想について聞いてみました。



▲自分の感じた尾道の魅力について来場者に話すアナイスさん（右）

広島フェアに通訳として参加するのは今回で2回目。はじめて参加したときは担当者から聞いた尾道のことをただ通訳するだけでした。でも、今回は実際に尾道で経験して感じたことを自分の言葉で紹介することができました。来場者の中には日本について詳しく知っている人もいましたが、尾道は知らない人がほとんどでした。そんな人たちに街並みやサイクリングロードについて話すと、みんな興味を持って聞いてくれました。中には前回の広島フェアで尾道を知り、実際にサイクリングをして柑橘を食べて来たという人もいて驚きました。私は現在アルザス地方にあるホテルで働きながら、大学で観光の勉強をしています。もちろん、日本は恋しいのでまた行きたいと思います！

2014 ミス尾道

2014 ミス尾道として2年間にわたり様々なイベントで尾道のPRをしてきた末永沙与さんと吉井佐織さん。4月に開催される「第73回尾道みなと祭」がミス尾道として最後の活動となります。これまでの活動の中で印象に残っていることや成長したことは何か聞いてみました。

末永沙与さん

とくに印象に残っていることは、就任して初めての「尾道みなと祭」でのパレードです。こんな体験はもう二度とできないだろうと心に刻みながら手を振っていました。緊張で笑顔がぎこちなくなっていたのを覚えています。

これまでの活動を通じて、積極的に人との関わるようになりまし。この2年間で本当にたくさんの人と出会い、それぞれの考え方や価値観に触れてきました。自分自身の視野も広がり、もっといろんな人と仲良くなりたいと思うようになりました。

他に変わったことと言えば、ロードバイクを買ったことですかね（笑）。サイクリングイベントや研修を通じて、改めてしまなみ海道の魅力に気づきました！



▲ミス尾道の活動を通じて始めた自転車。時間さえあれば乗っているそうです。

吉井佐織さん

ミス尾道の活動を通じて「尾道愛」が増しました！様々なイベントやメディアへの出演を通じて、自分自身が楽しみながら尾道について勉強をしました。歴史や文化、習慣や地理など今まで知っていたことでも、実際に見て、聞いて、歩いてみると新しく発見することが多くて驚きました。あまり外に出るタイプではありませんでしたが、しまなみ海道のサイクリングなど、自転車を漕ぐ楽しさや爽快感、島々の美しさなど、ミス尾道をやっていなければ気づけなかったと思うことがたくさんあります。

これからも身近な友人や同世代の人たちに、自分が経験した楽しさや驚きを味わってもらうために尾道自慢を続けていきたいと思います！



▲観光立国タウンミーティング in 尾道の会場にて。自分の言葉で尾道の魅力を堂々と話した吉井佐織さん（右）と末永沙与さん（左）

平成27年度新入会員

平成27年度に新しくご入会いただいた会員の皆様です。これからもよろしくお願いします。

くいしん坊千両〔飲食業〕
手打ちそば圓山〔飲食業〕
尾道ラーメン喰海〔飲食業〕
（有）ミハルススポーツ〔小売業〕
（株）ユニクロ東尾道店〔小売業〕
うずの鼻コミュニケーションズ（株）〔商品開発〕
（株）広島エアポートホテル〔宿泊施設〕
三共リース（株）尾道営業所〔レンタル業〕
アベックス（有）〔ビルメンテナンス業〕
ラーメンたかはし〔飲食業〕
ネコノテサービス有事組合〔菓子製造業〕
（株）シンコー「味の蔵尾道店」〔飲食業〕
農事組合法人世羅高原農場〔観光農園〕
尾道駅前都市開発（株）〔不動産業〕
尾道ウォーターフロント開発（株）〔不動産業〕
タイムズ24（株）〔駐車場管理業〕
遊漁船 海正丸〔遊漁船業〕
ライズ・プロジェクト（株）〔イベント企画業〕

サイクルハウスしぶや〔小売業〕
GWAAN（グワーン）〔イベント企画業〕
カフェ・レスト・BON〔飲食業〕
原田芸術文化交流館ーやまそら〔体験施設〕
（株）赤坂ボーリング〔ボーリングさく井業〕
ラーメン シゲ〔飲食業〕
コーヒーポット〔飲食業〕
キッチン くじらぐも〔飲食業〕
瀬戸内隠れ家リゾートCiel〔不動産業〕
class コーヒー&カフェ〔飲食業〕
宗教法人 俵崎神社〔寺社〕
中華そば 十万石〔飲食業〕
無花果〔宿泊施設〕
サンフォルテ・絵どころZ〔鉛筆画・カレンダー制作〕
尾道イーハトーヴ ねこグッズの店「Le chat」〔小売業〕
（株）中電工 尾道営業所〔建設業〕
フェリーチェ・ディ・ツッカ〔飲食業〕
〔個人〕2名

合計 37 件

仮装でええじゃん！綱引き大会開催

全国仮装大会 in おのみち 2016 に向けたプレイベントとして、本通り商店街で仮装綱引き大会を開催。様々な衣装やキャラクターに仮装した 20 チームが熱戦を繰り広げます。

1 チーム 8 名 1 試合 3 本勝負のトーナメント戦で競います。ぜひ応援にお越しください。

【日時】3月20日（日）11：00～15：00

【会場】尾道商業会議所記念館広場ならびに
本通り商店街

【内容】1 試合 3 本勝負（2 本先取で勝利）
当日は仮装コンテストも行います！



※写真はイメージです

千光寺公園 春のぼんぼり掲出について

尾道の春を彩る千光寺公園。一年を通じて、もっとも来場者が多いのは花見シーズンです。昨年は 9 万 500 人もの方々が訪れ花見を楽しみました。

この花見シーズンには、園内を俳句と協賛企業のぼんぼり約 450 個でライトアップし、夜のにぎわいを創出しています。夜型観光を推進することで、飲食店や宿泊施設の利用者増強へとつなげていきます。

協賛企業ぼんぼりは毎年募集しておりますので、気になる方は観光協会へご連絡ください。今年も千光寺公園の花見をお楽しみください。

【掲出期間】3月19日（土）～4月17日（日）

【点灯時間】18：00～翌朝6：00



▲俳句ぼんぼり（左）と協賛企業ぼんぼり（右）

新入会員の ご紹介

くいしん坊 千両

昭和 63 年創業の中華そばのお店「くいしん坊 千両」。野菜と鶏ガラから取ったシンプルなスープと背油の昔ながらの「中華そば」はこのお店の看板メニューです。また「野菜ラーメン」や油を抑えた「焼きめし」はヘルシーだと女性にも人気なのだそうです。店内には訪れたお客さんが自由に書き込めるノートもあり、おいしさと感謝のコメントでいっぱいです。

親子二人で営む「くいしん坊 千両」。自分たちで情報発信をするのは難しいと考えていたところ、観光協会の入会案内がきっかけでご入会いただきました。

最近は一見さんのほとんどがスマートフォン片手に訪れるそうで、中には、すでに「おのなび」を見て来られたお客もいたそうです。掲載している中華そばの写真は観光協会のスタッフが撮影したのですが、特に気に入りで「おいしそうに見えるからポスターにして飾りたいね」とご満悦の様子。

気さくなご主人と、笑顔が印象的な娘さんの仲の良さもおいしさと多くの常連客を生む「秘訣」です。



店主の佐藤福一さんと娘さんの金山香織さん



▲くいしん坊千両名物の「中華そば」



くいしん坊 千両

【住所】尾道市西則末町 5-21

【電話】0848-25-2639

【営業時間】11：00～15：00
17：00～22：00

【定休日】月曜日